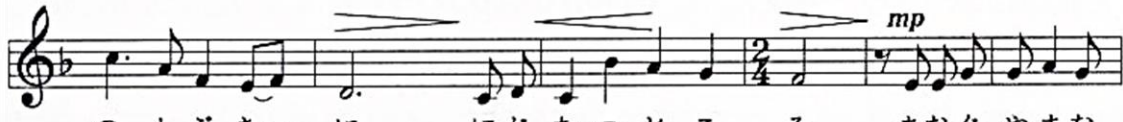


蔵王少年自然の家の歌

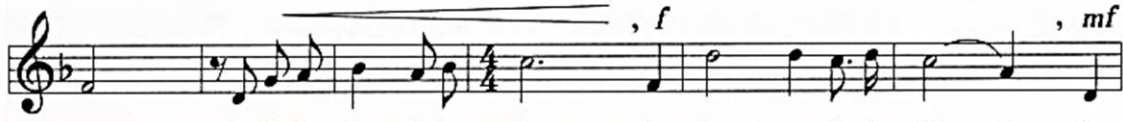
安部辰夫 作詞
曾我道雄 作曲



1. たに がわのお と はやしにひび き たき



の しぶきー に にじたつと ころ あおぐやまな



み われらをまねく とも にまなぼ う よ



りーふか く しぜんのちえの ひかりもとめて

一、谷川の音 林にひびき

滝のしぶきに 虹たつところ

仰ぐ山脈 なみ われらを招く

ともにまなぼうより深く

自然の知恵の光求めて

二、緑の丘のかなたに遠く

海の潮の うしほ かがやくところ

力あふれる われらのつどい

ともにすすもう手を組んで

奉仕と愛の心ひとつに

三、かつこうの声 森にこだまし

蔵王の峰に 雲わくところ

夢はふくらむ われらの胸に

ともにうたおう声高く

希望にみちた理想の歌を

